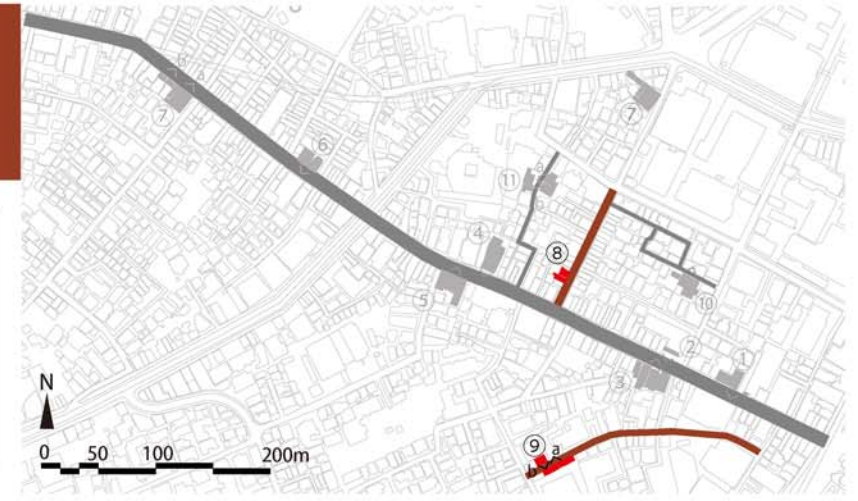


神楽坂地区 建築ファサード低層部景観分析 (本多横丁、小栗横丁)

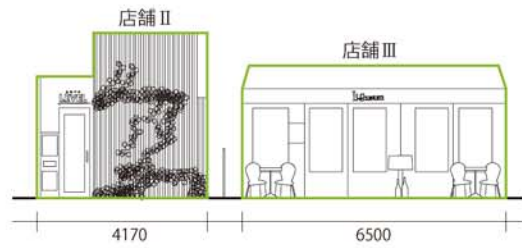
2020年3月

調査・制作：芝浦工業大学環境設計研究室
協力：NPO法人粋なまちづくり倶楽部



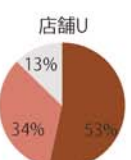
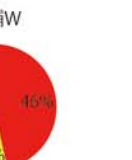
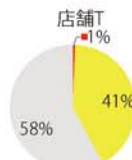
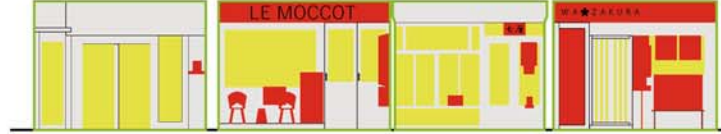
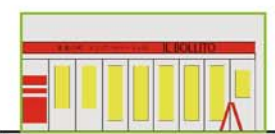
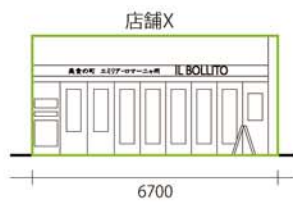
⑧ 本多横丁

【機能】平均値においては「外壁等(34%)」、「看板(25%)」、「開口部(22%)」の順に多く、「植栽(13%)」も見られた。「着座可能場所」の割合は神楽坂通りと同様に低い。ファサード面の景観構成機能の分析結果からは、本多横丁は神楽坂通りと横丁の両方の顔を持っていることと言える。
【素材】「木材(39%)」が多く、他の横丁と類似する一方で、「ガラス(20%)」が多いことは神楽坂通りに近い。その理由としては飲食店が多く、昼から営業しており内部の見通しがよい店が複数存在していることが挙げられる。



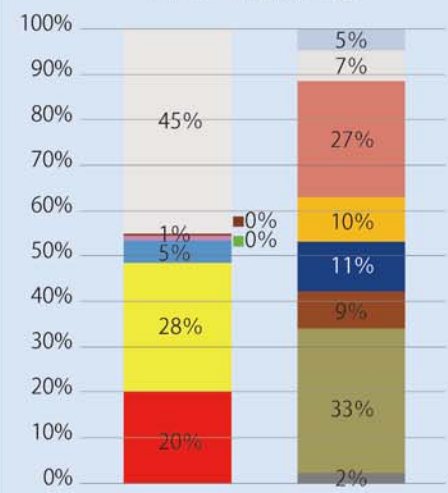
⑨ 小栗横丁

【機能】「その他(53%)」(ほぼ外壁)「開口部(29%)」「看板(18%)」の順に多く、この3種類で合計がほぼ100%になった。
【素材】外壁は「木材(31%)」「ガラス(29%)」の2種類が主である。神楽坂通りに比べて、機能、素材とも種類の数が少なくなっている。



地区別 低層部ファサード構成の比較

神楽坂1-5丁目①~⑤
ファサード構成平均値



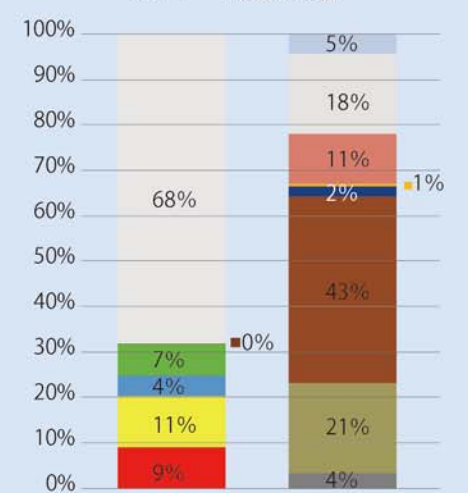
左：機能 右：素材

神楽坂6丁目⑥~⑦
ファサード構成平均値



左：機能 右：素材

神楽坂 横丁・路地⑧~⑪
ファサード構成平均値



左：機能 右：素材

■神楽坂通り:店先の商品やイベントが担う役割

神楽坂通りにおいては、店舗前に商品が出されている店がいくつか見られた。それらの店舗では、平均的に、商品の割合が高い場合、屋外広告物の割合は少ない。商品にはPR効果があり、広告物は少なくとも、店舗前に滞留やにぎわいが生まれと考えられる。また、開放型のファサードでは店先でイベントを行いやすく、それも大きな集客効果があることが観察された。

■横丁・路地

【機能】外壁等の比率が高く、植栽は多くの個所でみられる。屋外広告物は少なく、着座可能場所はほとんどなかった。

【素材】全体として「木材・紙(大半は木材)」、「石・リシン」など伝統的な素材の使用比率が高いが、近年建築されたものは防火対策からRC造のものが増えている。

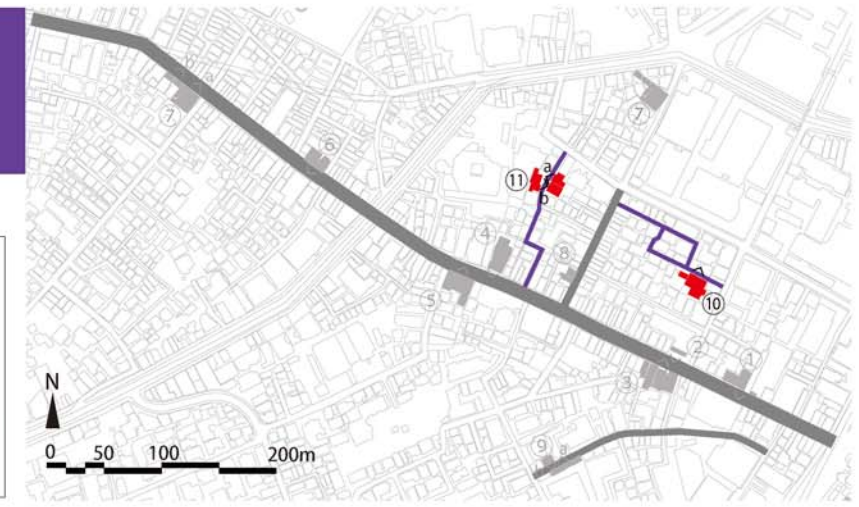
横丁・路地では、花柳界を象徴する和のデザイン要素がファサードに多く残っている。また、路地の店舗等は敷地境界付近の敷地内に植栽が施され、みち空間の修景がなされている。通りによってファサード構成の特徴は異なる。近年新築あるいは改築された建築物では、みちから見て店内の様子が分かるよう、開口部の比率が高い店舗も見られた。



神楽坂地区 建築ファサード低層部景観分析 (かくれんぼ横丁、兵庫横丁)

2020年3月

調査・制作：芝浦工業大学環境設計研究室
協力：NPO法人粋なまちづくり倶楽部



- 【機能 凡例】
- 看板 (Red square)
 - 開口部 (Yellow square)
 - スルー (Blue square)
 - 外壁等 (Grey square)
 - 商品 (Purple square)
 - 植栽 (Green square)
 - 着座可能場所 (Brown square)
- 【素材 凡例】
- コンクリート (Dark grey square)
 - 石・リシン (Light grey square)
 - 木材・紙 (Brown square)
 - 金属 (Blue square)
 - プラスチック (Yellow square)
 - ガラス (Red square)
 - その他 (Light blue square)
 - (スルー) (Light blue square)

■かくれんぼ横丁、兵庫横丁

【機能】

いずれの店舗前においても、「外壁等」(ほとんど外壁や塀)が7割以上になり、外壁や塀及び路面によって閉じられた空間構成となっている。これは、プライバシーを重んじる花柳界建築の特徴が継承されているものである。2番目に多いのが植栽であり、これも内側から緑が路地にしみ出すという花柳界の特徴である。「スルー」は路地から各店舗への入口や見通せる個所であり、各店舗に存在するが量は少ない。店舗Yの大きな開口部はガラス面で、従前は旅館であったものがレストランにリノベーションされた際に改修された。

【素材】各店舗とも「紙・木材」が多く、その主たるものは板塀で、特に黒板塀は神楽坂花柳界の特徴として随所で異なる意匠のものが設えられている。店舗Yの素材として多い「石・リシン」は、ここではリシン吹付で、従前の壁面が塗り替えられたものである。素材についても、花柳界建築の特徴が継承されている。

⑩ かくれんぼ横丁



⑪ 兵庫横丁

